

### 1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全	29年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト			
事務事業名	堀川口防潮水門の地震・津波対策	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7937 施設事務所、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	堀川口防潮水門			事業 期間	平成25～令和3年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。				
概要	堀川口防潮水門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。				根拠 法令等	
事業着手時点の 評価	補強対策を行うことにより、住民及び企業の生命・財産を守ります。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
30年度の実施予定	堀川口防潮水門の3号通航水門について耐震補強工事を完了します。 また、2号通航水門について耐震補強工事を実施します。(平成30年度から令和元年度の債務負担行為による工事)				関連 シート	

### 2 DO(実施)

30年度に実施した 内容・結果	堀川口防潮水門の3号通航水門について耐震補強工事を完了しました。 また、2号通航水門について耐震補強工事を進めました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	合計(25年度～)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	138,440	246,848	237,141	677,762	
人件費	千円	6,898	7,352	6,822	34,738	
合計	千円	145,338	254,200	243,963	712,500	

### 3 CHECK(検証)

指標名	28年度	29年度	30年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事完了までの進捗状 況(全4工程) (進行管理型)	目標	3	3	3	3(累計)	既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事 完了	
	実績	3	3	3			
	事業進捗状況(30年度)			順調 やや遅れ・遅れ			
	目標						
	実績						
	事業進捗状況(30年度)						
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	耐震補強工事完了に向け順調に進捗しております。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 事業着手時に比べ必要性が低下してい ないか? 事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや 社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>	地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のニーズも高いと考えておりま す。					
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に 貢献と考えております。 本事業は、施工中であるため、成果の評価は対象としておりません。					
効率性 最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	必要最低限のコストにて取り組んでおります。					

### 4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組	継続
順調	堀川口防潮水門の地震・津波対策は、背後地の安全性向 上に必要不可欠なものであり、継続して事業を進めてい く必要があります。また、既存の水門は高潮対策に主眼を置 いた構造であることから、津波への対策を更に強化する必 要があります。	堀川口防潮水門は、令和3年度の完了を目的に躯体の耐震補 強工事を着実に推進するとともに、新たな水門の整備に向け 検討を進めていきます。	